

学びの多様化学校について

～不登校を経験した生徒の社会的自立を目指して～

福岡県教育庁 教育振興部 高校教育課
課長 古島 裕太



県立高校の学びの場

不登校の経験があっても、 学びの場があります

中学校の時、学校に登校したくても行くことができなかった…そんな生徒に、福岡県立高校では様々な学びの場を準備しています。

「中学校の成績がよくない」「高校卒業まで登校できるか不安」など、悩みがあっても、学ぶ意欲があれば県立高校を選択できます。

詳しい学校の情報は、福岡県HPに掲載しているので、自分にあった学校を、是非探してみてください。



福岡県教育委員会



学びの多様化学校

・令和7年度から福岡県立小郡高校に、国の「学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)」の制度を活用した「みらい創造コース」を設置します。

・不登校の生徒に寄り添った特別な教育が実施されます。

・中学校での学習のつまづきや、日ごろの悩みに、先生たちが寄り添って、卒業まで一人ひとり手厚くサポートします。

・不登校を経験した生徒が登校しやすい環境を整備します。

例えばこんな悩みを持っている生徒



・全日制高校へ進学したいが、不登校生徒に特化した配慮がないと不安だ
・様々なきめ細かい支援があれば、継続して登校できる、登校したい

通信制高校

(博多青松高校)

・主に土日に登校し、平日は自宅でレポートに取り組むので、毎日登校する必要がありません。

・県内にあるのは、福岡地区にある博多青松高校ですが、土日の登校はそれ以外の地域にある協力校(北九州:ひびき、筑後:大牟田北、筑豊:西田川)への通学もできるので、県内どこに住んでいても無理なく通学が可能です。

・受講する講座やタイミングを自分で決めることができるので、自分のペースで卒業を目指すことができます。

例えばこんな悩みを持っている生徒

・毎日登校することは望まない
・集団での行動が苦手だ



定時制高校(昼間定時)

・県内各地区(北九州:ひびき、福岡:博多青松、筑後:大牟田北、筑豊:西田川)に昼間に通える定時制単位制高校を設置しています。(これらの学校には夜間定時制も設置しています。)

・午前(9時頃～12時頃)、午後(13時頃～16時半頃)から、授業を受ける時間帯を自分で選ぶことができます。

・自分にあった時間割を作ることができます。

※ この他にも、嘉穂総合高校大隈城山校が昼間定時制高校として設置されています。

例えばこんな悩みを持っている生徒

・朝早く起きることが苦手だが、昼間に登校したい
・興味・関心のある科目を自分のペースで学びたい

定時制高校(夜間定時)

・県内に19校の夜間定時制高校があります。

・17時半頃から21時頃まで授業が行われます。

・主に1日4時間程度の授業を受けます。

・多くの学校が、小規模な集団で、4年間で卒業を目指します。(3年間で卒業することもできます。)

例えばこんな悩みを持っている生徒

・夕方からであれば登校できる、登校したい
・長時間学校で学習することに不安がある



全日制高校

・朝登校し、午後まで授業を受け、3年間で卒業を目指す、最も多く設置されている高校です。

・中学校での長期欠席が原因で、評定値が自分の学力に見合っていない…と感じている生徒が受検しやすいよう、一般入試において中学校第3学年の評定値を合否の選考資料としない特別な入試を、全校で実施※します。

※全日制課程だけでなく、定時制課程でも実施します。

例えばこんな悩みを持っている生徒

・中学校の時は周囲と人間関係がうまくいかず、登校できなかったが、環境が変われば登校できる、登校したい



不登校を経験した
生徒が学びを諦める
ことのないよう、
県立高校では
様々な学びの場を
準備しています。



学びの多様化学校とは

学びの多様化学校

- 文部科学大臣の指定を受けることにより、**不登校生徒の実態に配慮した特別な教育活動**を行うことができる学校。
- 令和5年8月に「不登校特例校」から名称変更。

学習指導要領に定められた基準によらず、不登校生徒の実態に配慮した特別なカリキュラムを編成することが可能

例1 **学校独自の科目を多く設定**

例2 **授業時数やその内容、形態を弾力化**

県立高校に設置した背景

● 福岡県でも、小中学校の**不登校児童・生徒は増加傾向**

不登校の中学生（福岡県）		
令和4年度	令和5年度	令和6年度
9,165人	10,553人	11,330人 ※5年間で約1.8倍に増加

● 定時制・単位制、通信制とは異なる選択肢の必要性

- **全日制の高校へ進学したいが、不登校の生徒に特化した配慮がないと不安**
- **様々なきめ細かい支援があれば、継続して登校できる（登校したい）**

└ このような生徒のニーズに応えるために、検討、準備を開始（R5）

県立小郡高等学校に設置

小郡高等学校

- **全日制**の普通科高校
- **西鉄「三国が丘駅」**まで徒歩3分の立地

全県からの募集になるので
通学しやすいことが前提。
また、クラス数を増やすための
校舎のキャパシティも必要。

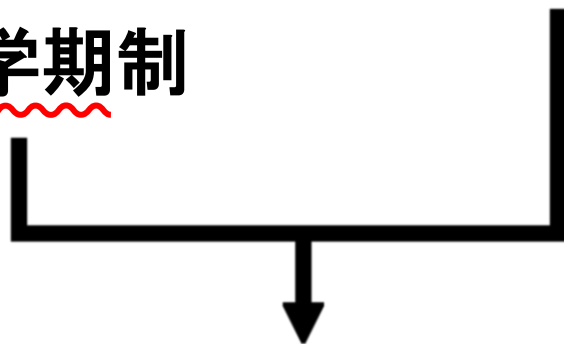
生徒が落ち着いて
学習に取り組んでおり
地域からの信頼が厚い高校



県立小郡高等学校に設置

小郡高等学校普通科みらい創造コース

- 令和7年4月に開校
- 公立高校としては全国初
- 全日制・普通科・単位制
- 2学期制



- ✓ 決められた単位を修得すれば卒業できるシステム
- ✓ 科目によっては、単位を半期ごとに認定することが可能

コースの名称には、
不登校を経験した生徒が、
個性に応じた支援を受けながら、
夢を叶え、**明るい未来を築く**
ことができるように、
という思いが込められています。



生徒募集

● 対象者（入学定員 40人、通学区域：県内全域）

小郡高校普通科みらい創造コースに入学を希望する者で、以下の全てに該当する者

- ① 在学中学校又は出身中学校等第3学年における欠席日数が年間30日以上の不登校生徒又はそれに相当する者

※ 教育支援センターやフリースクール、保健室登校での学習等により出席扱いとなっている者等を含む。

- ② 入学後、継続して登校する意志を有する者

- ③ 合格した場合、入学する意志が確実であると認められる者

● 選考方法

入試は、面接、作文のほか、国語、数学、英語の学力検査を実施

みらい創造コースの特徴 その1

安心できる学習環境

- 1日のスタートは9時30分
- 45分授業（授業間の休憩は15分）
- 少人数学級編制（20人学級を2クラス）
- ICTを活用した学習支援を実施
- コース専用の昇降口（生徒の動線の工夫）
- 服装は自由（小郡高校の制服も選択可）
- リラックスルームを設置

第1限 (リフレクション)	9:30～ 9:40
第2限	9:45～10:30
第3限	10:45～11:30
第4限	11:45～12:30
昼休み	12:30～13:15
第5限	13:20～14:05
第6限	14:20～15:05
掃除	15:05～15:20
リフレクション	15:20～15:30
第7限	15:40～16:25

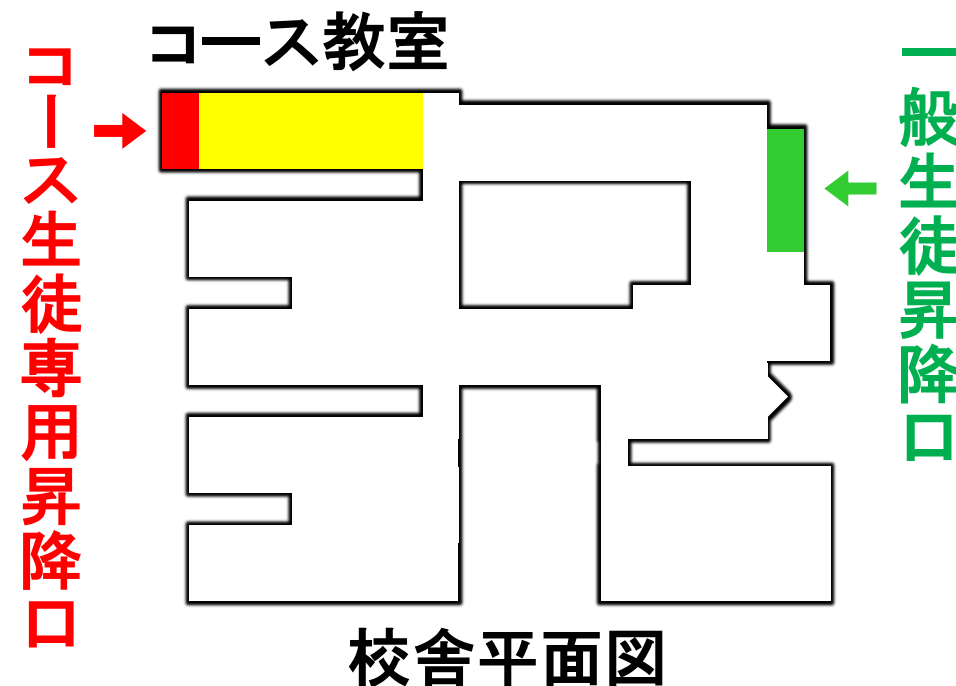
コースの時制

みらい創造コースの特徴 その1

安心できる学習環境

- 1日のスタートは9時30分
- 45分授業（授業間の休憩は15分）
- 少人数学級編制（20人学級を2クラス）
- ICTを活用した学習支援を実施
- コース専用の昇降口（生徒の動線の工夫）
- 服装は自由（小郡高校の制服も選択可）
- リラックスルームを設置

リラックスルーム



みらい創造コースの特徴 その2

コース独自のカリキュラム

- 学校設定教科・科目の充実
 - **ブリッジ科目**…中学校の学び直し
 - **CR**（キャリアリサーチ）
…自己理解を深め、ソーシャルスキルを高める
 - **リフレクション**…1日の計画と振り返り
- 進路希望や興味・関心に応じた科目選択
- コース独自の学校行事

リフレクションは朝と夕方
各10分（5日で100分）
あります。

これは**2単位分の学校設定科目**としています。
※朝夕のHRの代わり



みらい創造コースの特徴 その3

手厚い教育相談体制

- 教員の配置（令和7年度は5人の教員を配置）
- 学習支援員の配置（令和7年度は2人を配置）
- スクールカウンセラー（SC）、
スクールソーシャルワーカー（SSW）の重点的配置

✓ SC 7時間45分／週 × 30週

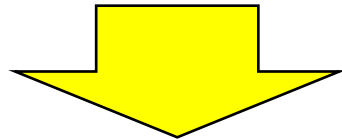
✓ SSW 12時間／週 × 28週

- 外部の専門機関との連携

まとめ

学びの多様化学校（みらい創造コース）

- きめ細かな支援や生徒の実態に配慮した教育活動を展開する。
- 自立して社会で豊かに生きる力を育む。



年次進行していく中、**一人一人の進路希望を実現**できるよう、**引き続き生徒に寄り添った支援**を行っていく。

みらい創造コースにおける実践も参考に、県立高校全体として、**多様な学びの在り方についてさらに検討**を進めていく。

ご清聴ありがとうございました。



ミライル 「ふくおか教育月間」イメージキャラクター

これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精
「ミライル」という名前には、笑顔（スマイル）が溢れる未来（ミライ）
に羽ばたいてほしいという願いが込められています。